

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員を正社員化する。

めざまし均等待遇なくその差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

ちよつと早い忘年会を開きました

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 3807
17年11月24日(金)
・Fax 095-828-1953

おはようございます。

郵政ユニオン長崎が十一月二日に恒例の忘年会を銅座町の居酒屋で開きました。会には組合員、退職者、地域の仲間など三〇名の仲間が参加しました。仕事は辛くても、お酒を飲めばみんな元気。わいわいがやがや。あつという間の二時間でしたが、山田書記長の「みんな団結して、また頑張ろう」という最後の締め言葉で乾杯し、それぞれ夜の街へ消えていきました。いよいよ、本格的な年末が待ち受けていますが皆さん



体調を崩さないように、お仕事に、組合活動に、ご奮闘ください。

*** **

シルバーユニオンが京都で交流会

郵政ユニオンの退職者組合(シルバー・ユニオン)が十一月十五日、十六日の西口、京都で第三回全国交流会を開きました。長崎からも代表が二名参加をしました。

この会議には全国から二十六人が参加しました。参加地区は北海道、千葉、神奈川、東京、京都、大阪、兵庫、奈良、岡山、広島、長崎、沖縄でした。会議では自己紹介、事務局

の活動方針の提起などが行われ、意見を交換しました。

シルバーユニオンは二〇〇四年に結成されてすでに十三年目ですが、退職者が自動的に加入する組織としては作られておらず、そのために数が増えず、活動も限定的でした。

そうしたことから三年前から交流と観光を兼ねて、各地を持ちまわる懇親・交流会という方式で、各自が集まることとしました。二〇一五年が長野県阿智村の昼神温泉、二〇一六年が広島県東広島市と続き、今年が三度目の京都となっていました。もちろん今回のお目当てはお寺巡りと紅葉見物です。

二日目は京都・東山のウォーキングでした。聖護院、光明寺、法然院、永観堂、禅林寺、南禅寺と、哲学の道歩き、紅葉で真っ赤に染まった山門など、十分秋を満喫しました。秋の京都は紅葉です。まさに人だらけ。観光客は七千三百万人です。その多くが



この秋に集中するわけではないと思いますが、とにかく人が多いのに驚きました。バスもタクシードも乗れないのです。

シルバーの現状です。退職者は金と健康では問題がありますが、時間だけはありません。そのために現場の現役の仕事の役員や活動家が日常の仕事に追われて、昼間にはなかなか活動できない現実をフオーロします。たとえば地域共闘などの活動も退職者が参加することがシルバーユニオンの主

な目的です。

長崎でも十数人の人が退職後も組合費を払い続け、財政的に支部を支え、また三人の方が無給の事務局員として、書記局当番を担われています。こうしたシルバーの存在は、少数組合としての不足、金不足を乗り越える力ギでもあります。シルバーと現役ユニオンはお互いがお互いを支え合う存在でもあります。

シルバーユニオンは結成十年を記念して、この秋に十周年記念誌を発行しました。全国のシルバーの仲間六十数名が原稿を出し合い、二百八ページの立派な本ができて、退職者(シルバー会員)には無料配布されました。また、支部の退職者の中島さんが書いて現在「伝送便」に二年間連載中の「郵政全労協結成前後(外史)(四十四ページ)が附録としてついており、これも配布されました。ぜひ一読ください。

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1 集-山本, 2 集-向井, 3 集-山田, 郵便-高田, ゆうちょ銀-上筋, 他支部・分会の役員へ。